

質問（中川雅之議員）再開発ビルの建設工事が平成二十五年九月完成に向けて進められておりますが、一階の商業床テナントの現在までの出店状況について伺います。

答弁（市長）再開発ビル一階の商業床につきましては、権利者が二店舗の出店を予定しておりますが、それ以外の部分を株式会社まちづくりカンパニーが取得をして、貸しテナントとして運営していくことになっていきます。

貸しテナントに关します現在の状況は、電話や直接訪問による問い合わせが三十八件、このうち書面による出店申し込みが七件ありました。それら書面による申し込みの件数の中から、去る十一月十四日に行われましたまちづくりカンパニーの取締役会において、外向き店舗四店舗が決定いたしました。

また、生鮮食料品を扱うキーテナントにつきましても、同日の取締役会におきまして、まちづくりカンパニーが直営で運営

## 再開発ビルのテナント出店について



黒羽中学校で生徒や保護者の相談を受ける  
スクールカウンセラー

## スクールカウンセラーの訪問について

質問（小西久美子議員）スクールカウンセラーの学校訪問により、児童もカウンセラーの訪問を待っており、また安心して学校生活が出来るようになり、大変効果があると聞いております。そこで、小学校へのスクールカウンセラーの訪問について、今後も続けていくのか伺います。

答弁（教育長）スクールカウンセラーは、児童生徒の悩みや不安を受けとめて相談に当たり、学校などと連携して必要な支援

を行う心の専門家であります。本市では、小中学校からの要請を受けてスクールカウンセラーの派遣を行っており、今年度は県のカウンセラーも含めて六名採用しています。また、今年度教育委員会では、小中連携教育について、黒羽中学校区を研究指定しています。その研究の一環として、中学校入学後の不適応を未然に防止するため、黒羽中学校区の小学校にスクールカウンセラーを定期的に派遣し、児童や保護者に対する支援

を行っています。来年度は黒羽中学校区の研究は終了し、スクールカウンセラーの定期的な派遣はなくなりませんが、不登校を初めとする児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応のためには、今後も学校からの要請に応じて派遣していきたいと考えています。

また、来年度は、統廃合により環境が大きく変化する小学校が二校あります。こちらの二校についても、児童や保護者の悩みや不安を少しでも軽減させるために、スクールカウンセラーの派遣を積極的に行って支援をしていきたいと考えています。

する方針が決定いたしました。現在、仮契約が済んでいる状況であり、この五店舗の売り場面積の合計が約三百七十坪ほどになります。また、残りの面積約八十五坪程度の売り場は、二坪程度の小さなブースを五区画と十坪及び十五坪程度の売り場が残っているという状況であり、それが決定すれば一階の商業床は全て埋まるという状況であります。

今後はキーテナントに隣接するミニショップゾーンにつきまして、選定を行っていく予定となっております。



平成25年9月完成に向け建設工事が進む再開発ビル